

平成24年12月定例議会

平成24年12月6日

村長 提案説明

本日ここに、平成24年朝日村議会12月定例会を招集いたしました所、議員の皆様方には、お揃いでご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

初めに、去る4日に告示されました、衆議院議員の総選挙は、来る12月16日が投票日となり、今、正に選挙の真直中でございます。これまでの党利、党略による国政の停滞は、国際的には、わが国の信用度が著しく低下し、国内にあっては、東日本大震災の復旧・復興、電力不足に伴うエネルギー課題、環太平洋経済連携協定（TPP）課題、少子高齢化社会の人口課題、長引くデフレ経済等々、国民生活に関わる課題が、山積している中での選挙戦でございます。

この様な背景を踏まえ、有権者である私ども国民一人ひとりが、各政党の選挙公約を十分検討をされ、公約が実行可能であるのか、しかも、実行できる候補者であるのか等々の判断をされ、希望の持てる総選挙になるよう期待するものでございます。

それでは、この際当面しております懸案事項等につきまして、若干申し上げます。

まず、農業立村としての朝日村農業についてでございます。先月JA松本ハイランド朝日支所における野菜生産販売実績検討会が開催されました。これによりますと、本年度の野菜類出荷数量は前年対比105%で増加しましたが、販売額見込みは前年対比81%の22億円という報告がされました。本年度は長期に亘って価格が低迷したため、大きく落ち込んだ年となりました。

農家の皆さんには、長年の経験のもとにこれからの農閑期は、来年度の作付け計画作りとなりますことから、充分体調を整えられ鋭気を養われ、来年に向け目標のある取組に期待をするものでございます。

次に、役場庁舎につきましては、現在研究・検討委員会で基本構想の原案を各地区毎に検討がされている所でございます。3月を目途に委員会

が、基本構想を策定するものと捉えております。

次に、保育所についてでございます。保育所のあり方検討委員会で答申がされました新築一園化につきまして、各地区常会で説明がされ10月を目途に村民の皆さんの意見、提案の期間を設けました。これにより、新築一園化の方針に賛同をいただきましたので、去る11月の保育所運営協議会で方針決定をし、議員の皆様からも了承いただいた所でございます。

これを受け、早急に建設委員会を立上げ、実施計画、実施設計に取り組んでまいり所存でございます。

次に、かたくりの里及び社会福祉協議会についてでございます。9月に有識者によるあり方検討委員会の提言を受け、理事会、評議員会で説明し、議員の皆さんにも説明する傍ら11月の社会福祉大会でも詳しく説明を行い、各地区常会では、評議員から説明をお願いしてございますが、今後の取組につきましては、今月行われる理事会に於いて、具体的に取組む方針を整えてまいり所存でございます。

次に、これら役場庁舎、保育所、かたくりの里の大型投資に関ります財源についてでございます。

私が村長就任以来、当時の財政状況を踏まえ、私の意を職員が理解をされ、職員が積極的に無駄を省いた村政運営に取り組まれたことにより、お蔭様で村財政は好転いたしております。

そこで、財源につきまして貯金に当ります積立金は、就任時9億円でありましたが前年度までに21億円となり、今定例会の補正予算で3億円の積立を計上しておりまして、合計24億円の積立金となり就任6年で15億円の積立ができる事となりました。

私は、9月定例会で申しあげておりますが、人口減少時代を迎え借金(付け)を次代に引継がない、また、役場等大型投資も次代に大型の負担をかける事が私に与えられた責務として捉えております。

次に、事務改善、経費節減についてでございます。

日頃の経常事務において、多額の経費となっておりますEDPSいわゆるコンピューター処理は、事務処理上必要不可欠となっております。このコンピューター関係につきましては、私ども町村は広域処理を実施している自治体以外は、県内のA社に委託をし半独占運営となっております。

このたび、職員の勉強情報収集により、本年度においてコンピューター

化した基幹系システム（31事務）について、他の企業と競争するプロポーザル方式を実施し、向こう6年間の契約を結びました。これにより、本年度予算より1,000万円安く契約をする事ができました。今定例会の補正予算では、本年度の残り3ヶ月分の経費削減をお願いしてございます。

因みに、平成19年の委託料は5,000万円で、本年度は4,800万円でございますが、次年度以降は3,800万円の委託契約となるものでございまして、6ヶ年で6,000万円の削減ができる事となります。

次に、冬を迎えウィンタースポーツについてでございます。

まず、スケート場につきましては、今月の21日にリンク開きの予定でございまして、今後の気温の状況によりますが、連休前のOPENに期待をいたしております。

このたび、松本市のご厚意により、当スケート場にコーナーマットを設置し安全対応ができることになり、そして、子供用フィギュアスケート靴50足、及びスケートの刃を研ぐ研磨器を借用することになりました。スケート靴につきましては、昨年からを含め無料貸し出し300足を揃えましたので、多くの皆様のご利用を願うものでございます。

なお、本年10月にスケートリンクを改修したことにより、シーズンオフいわゆる夏場にはローラースケートができる事となりましたので、年間を通じた利用ができる状況となっております。

また、スキー場についてでございます。昨年、人工降雪機を設置したことにより、本年は今月の22日がオープン予定となっておりますが、順調に行けば今月の10日頃にはプレオープンし、スキーが楽しめる予定でございます。

本年は、料金設定も格安との事でございますので、村内外から大勢の皆様のご利用を期待するものでございます。

次に、明るい話題を申し上げます。

まず、平成20年に誘致しましたカンロ株式会社は、例年創業月であります11月に、村を通じ福祉施設等へカンロ製品の寄贈をされております。本年は、カンロ株式会社創業100周年を迎えた事により、「カンロ飴」や「健康のど飴」を始め、当朝日工場で生産されている「グミ」商品など100ケースの寄贈を受け、村内福祉施設ではありがたく利用いただいております。

また、昨年10月朝日美術館で個展を開かれた、ドイツ在住36年間の

彫刻家加藤邦彦氏が、スウェーデン産の赤御影石で製作した「生きものRG2011」の作品を寄贈されました。そこで「朝日美術館友の会」の皆さんのご協力により、去る11月に縄文むら公園に設置をいたしました。

この石彫は、岩から流れ落ちようとする水滴を表しており、命を維持する水資源の大切さを表現されております。

昨年、加藤氏ご夫妻の個展開催により、当村の縄文時代からの歴史と自然豊かな環境に共鳴され寄贈されました。今後は、多くの来場者に鑑賞していただけるよう願っております。

それでは、只今上程されました議案につきましてご説明申し上げます。本日提案いたしました議案は、専決1件、条例2件、予算6件、その他議決案件4件の計13件でございます。

まず、専決処分につきましては、今回の衆議院議員の選挙費用につきまして、予算の専決を行ったものでございます。

次に、議案62号から66号につきましては、東筑摩郡町村会が平成25年3月31日をもって解散することに伴い、関係する条例等の議決をお願いするものでございます。

次に、村税条例の改正につきましては、県税条例の一部改正に伴い、村税条例の一部を改正するものでございます。

次に、議案68号朝日村一般会計補正予算（第4号）につきましては、歳入歳出にそれぞれ3億7,607万円を追加し、予算総額を27億1,183万円とするものでございます。

この内、歳入の主なものは、地方交付税3億288万円、県支出金372万円、繰越金6,500万円等でございます。

歳出の主なものでは、先程申しあげました財政調整基金積立に3億2,633万円、事務経費の節減で237万円の減額、緊急雇用創出事業に239万円、地域材活用事業に5,000万円等でございます。

特に、地域材活用事業につきましては、議員協議会でご説明申しあげておりますが、国が進める緑の分権改革事業の一環として、村内の森林資源を、公共施設等に活用する目的で材木の調達から製材等に係る費用について、特別交付税の対象となりますことから先行した取組みを行うものでございます。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、療養給付費の増加に伴い650万円を追加するものでございます。

介護保険特別会計につきましては、予算の組み換えを行なうものでございます。

後期高齢者医療特別会計につきましては、広域連合への納付金56万円を追加するものでございます。

次に、簡易水道特別会計につきましては、維持管理費の増加に伴い、198万円を追加するものでございます。

次に、プライムスキー場事業特別会計につきましては、公債費利子の減額に伴い48万円を減額するものでございます。

なお、今会期中には去る11月の臨時会で議決をいただきました水道配水池等の改良事業の変更について、追加提案させていただく予定でございます。

以上、本日提案いたしました議案等につきまして、ご説明申しあげましたが、担当課長及び担当者から補足説明をいたしますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。